

おすすめコース 横濱歴史と文化コース

1 帆船日本丸・横濱みなと博物館

1930年に建造され、1984年まで船員を養成する練習帆船として活躍した後、ここに係留保存されています。船内を見学できるように整備し、併設の横濱みなと博物館では、「歴史と暮らしのなかの横浜港」をテーマに、展示物を見学しながら横浜港の歴史と役割を学べます。横浜港を航行する映像を再現した操船シミュレーターや、横浜に関するポスターなども見どころです。



3 日本郵船歴史博物館

日本の海運業界を代表する日本郵船(株)の横浜郵船ビルを、1936年の竣工当時の姿にリファームして併設された施設。館内では、近代日本海運の黎明期から今日に至るまでを紹介する常設展の他、さまざまな企画展が開催されています。

2 神奈川県立歴史博物館

建物は横浜正金銀行だったネオ・バロック様式の旧館(国重要文化財・史跡指定)と、正面玄関にあたる新館からなり、中世鎌倉・戦国後北条・開国と文明開化など、日本の歴史の主要舞台となった神奈川の歴史が時系列でわかりやすく展示されています。特別展や、浮世絵をメインとする収蔵コレクション展も年に数回開催。歴史や文化、郷土をより広く知るためのミュージアムライブラリーや、講座なども開かれ、横浜を楽しく学ぶのにもってこいです。



4 神奈川県庁(キング)

西洋建築に和の様式を融合させた「帝冠様式」による建築の、神奈川県庁本庁舎。屋上と展示コーナーは一般解放され、随時見学が可能です。横浜三塔の一つである塔屋が建物に乗り、その堂々たる外観はまさに「キング」。建物は、国の有形文化財です。

5 横浜市開港記念会館(横濱三塔・ジャック)

神奈川県庁(キング)、横浜税関(クイーン)と並び「横濱三塔」の一つに数えられる高さ約36mの通称「ジャック」の時計塔を持つのが、国重要文化財指定の「横浜市開港記念会館」(中区公会堂)です。内部には481名収容の講堂や9室の会議室があり、市民の研修やイベントなどに利用されています。館内の廊下や階段は自由に通ることができ、レトロな雰囲気のコピーやステンドグラスの細かい造作を心ゆくまで見学してくださいね。



6 横浜税関資料展示室(横濱三塔・クイーン)

昭和9年建築の横浜税関は、ロマネスク様式はじめさまざまな西欧建築様式が混在し、「横濱三塔」の一つ「クイーン」として親しまれている高さ51mの塔があります。1階にある資料展示室「クイーンのひろば」では、開港からの横浜港・横浜税関の歴史をつづるスクロール年表や貿易の変遷、麻薬やけん銃などの密輸の手法、知的財産を侵害した偽ブランド商品やワシントン条約に該当するはく製や標本等を、映像や実物展示により紹介しています。



7 横浜開港資料館

1972年まで英国領事館として利用された建物を、開港資料館として開放。閲覧室では、明治から昭和まで残る公私文書記録、新聞雑誌、写真や浮世絵などの収集資料を展示。企画展も開催されています。



8 横浜中華街關帝廟

開国と同時に中国から日本へやって来た華僑の、心のよりどころとして開かれた日本最初の關帝廟。100年以上もの間、横浜中華街の中心でその歴史を見つめ続けてきました。関帝廟に祀られているのは三国志で人気の関羽。商売の神様として、尊敬を集めています。

9 横濱媽祖廟

北宋時代(960年~1127年)に福建省の林氏の娘として生まれた「媽祖」。生前には神通力をつかい、お札の力で悪や災いを退け人々の病を癒し、亡くなったあとも赤い衣装をまとって海上で難民を救助したという言い伝えから、航海の安全を護る海の神として、また自然災害や疫病、戦争、盗賊から人々を護る女神として信仰されています。カラフルな本堂を見学しながら、旅の途中の安全祈願をどうぞ。

